

M A K I N G

Y O U R D R E A M S



Corporate Profile

会社案内 2025

C O M E T R U E

東京本社
〒108-6216 東京都港区港南2-15-3
TEL 03-5781-6200(代表)

大阪本社
〒540-8603 大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13
TEL 06-6228-5000(代表)

URL: <https://www.chori.co.jp/>

2025年6月発行



蝶理株式会社



ご挨拶



将来を読む力で新たなビジネスに挑み続ける

・—— 創業160年超の歴史を持つ複合型専門商社

蝶理グループは、繊維、化学品及び機械事業を展開する複合型専門商社です。創業以来160年超の歴史を持ち、単なるトレーディングにとどまらず、常に顧客・社会のニーズに応えながら、付加価値の高い機能・商品を提供してきました。また、その歴史の中で、中国及びASEANを中心にグローバルネットワークを広く構築し、事業を展開しています。

2024年4月に、マテリアリティ(重要課題)の特定及びサステナビリティ関連方針の策定を発表しました。2026年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025(CIP2025)」の基本戦略や各施策・取組を着実に実行し、「高機能・高専門性を基盤として、グローバルに進化・変化し続ける企業集団」として進化し続けていきます。

・—— 本冊子について

本冊子は蝶理の会社案内として、蝶理の歴史や事業等についてご紹介しています。蝶理の強みやオリジナリティについてご理解いただける1冊となれば幸いです。

事業環境が目まぐるしく変化する中でも、その変化をチャンスと捉え、スピード感を持って対応していきます。これからも、お客様や株主といった全てのステークホルダーの皆様の期待に応え、持続的成長と発展のために、企業価値を向上させていきます。

代表取締役社長

迫田 寛之

企業理念

私たちは地球人の一員として、
公正・誠実に誇りを持って行動し、
顧客満足度の高いサービスを提供し続け、
より良い社会の実現に貢献します。

コーポレートスローガン

あなたの夢に挑戦します。

Making your dreams come true

挑戰你的夢想

CONTENTS

3 蝶理の事業と強み	13 事業紹介：化学品事業
5 蝶理の軌跡	16 事業紹介：機械事業
7 蝶理の グローバルネットワーク	17 会社情報
9 事業紹介：繊維事業	

蝶理の事業と強み

高機能・高専門性を基盤とし、
高付加価値商品をグローバルに展開。
蝶理は、進化・変化し続ける企業集団です。

日本をはじめ世界の優良なサプライヤーと強固な関係を構築しています。長年にわたるサプライチェーン・顧客との密接な取引関係の中で得た豊富な知識や技術を通じて、市場ニーズや顧客ニーズを素早く察知し、スピード感と機動力を持って対応します。

蝶理の事業 = 高機能・高専門性 × 強固なネットワーク

繊維事業

強固なネットワークをグローバルに構築

糸加工、織物製造、染色等で世界に通用する高い技術力を持った北陸産地との古くからの強い結び付きを背景に、高付加価値商品を提供しています。また、国内外にある多数のサプライチェーンに加え、中国やASEANの生産拠点を整備し、グローバル規模で適地調達・適地生産・適地販売ができるネットワークを構築しています。糸・生地・資材等の素材から、スポーツ用途・ファッションにわたる様々な縫製品に至るまでを「GLOBAL ONE STOP CHORI」でグローバルに幅広く提案しています。

化学品事業

ニッチなネットワークを活かして事業を拡大

基礎化学品だけでなく電子材料、電池材料、5G関連、医薬品・農業中間体等の高機能材料や生分解性プラスチック等の環境に配慮した商品、及び保湿効果を高めるための化粧品原料やフードケミカル等の様々な商材を取り扱っています。長い歴史のある中国事業を中心にグローバルなネットワークが根付いており、経済成長が見込まれる地域へのスピード感を持った戦略的な取組や、取引先との緊密な連携によって調達・販売を拡充しています。

機械事業

独自のネットワークで得られる情報をもとに、世界中の市場の変化に素早く対応

四輪車・二輪車・トラック等の輸送機器や農業用機械等の中南米や欧州向け取引を行っています。緻密な情報網や顧客との強固な取引関係を通じて、市場の変化にも素早く対応し、セミ・ノックダウン生産による中国・メキシコとの三国間貿易等を手がけています。

蝶理の軌跡

蝶理は、江戸時代末期の1861年に京都の生糸問屋として創業しました。以来、常に時代とともに歩み、社会のニーズに応えながら、積極的に事業を展開してきました。

Domestic	Global
1861年 京都西陣において 生糸問屋として創業 1926年 人絹工業の勃興とともに 人絹糸の取扱を開始 1948年 資本金500万円をもって 蝶理株式会社を設立	
	1957年 現地法人蝶理ニューヨーク (現 蝶理アメリカ)を設立
1961年 東京証券取引所に 株式上場	1963年 現地法人蝶理ドイツ (現 蝶理ヨーロッパ)を設立 1973年 現地法人蝶理シンガポール を設立 1974年 現地法人タイ蝶理を設立 1987年 現地法人蝶理(香港)を 設立 1989年 現地法人蝶理マレーシアを 設立

1861

「蝶理」の由来

生糸を生み出す蛾を「蝶」と言い換え、創業家大橋一族の当主「理一郎」の名前から「蝶理」としました。



1956

化学品の取扱を開始

石油化学製品の有望性にいち早く着目した蝶理は、この年に塩ビ、ポリエステル等の合成樹脂をはじめとする化学品の取扱を開始しました。また、各種機械及び諸物資の取扱も開始し、基幹事業である繊維に加えて、化学品・機械という収益事業をスタートさせました。



1961

日中友好商社の第一号に

蝶理は、日中国交正常化前の1961年に、中国より友好商社の指定を受けました。これを機に、蝶理は日中貿易のパイオニアとして本格的に中国事業を開始し、中国の有力パートナーとのネットワークを拡大してきました。



2003年 新生経営計画を策定 2004年 東レ株式会社の連結子会社となる	1993年 中国初の現地法人蝶理 (上海)を設立 1995年 現地法人蝶理インドネシア を設立 2001年 現地法人蝶理中東を設立 2004年 現地法人蝶理(天津)、 蝶理(大連)貿易を設立
2013年 蝶理GLEX株式会社を 子会社化 2014年 東京本社を品川に移転 2015年 ミヤコ化学株式会社を 子会社化 2017年 蝶理マシナリー株式会社 を設立 株式会社アサダユウを 子会社化 2018年 株式会社小桜商会を 子会社化 2021年 株式会社STXを 子会社化 2022年 全社業務変革 プロジェクト開始 2023年 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2025」を 策定	2012年 現地法人蝶理コリアを 設立 2014年 現地法人蝶理インドを 設立 2016年 現地法人蝶理ベトナムを 設立 2017年 現地法人蝶理メキシコを 設立 2018年 現地法人台湾蝶理を設立 2019年 現地法人蝶理(大連) 商貿進出口を設立

2005

中国内販権・貿易権の獲得

中国内販権・貿易権を有する日本商社第一号の現地法人として、蝶理(中国)商業有限公司を設立しました。中国においてトップブランドとして根付いている蝶理は、中国を製造拠点とするだけではなく、一大市場として、また三国間取引の戦略拠点として位置づけています。



2024

サステナビリティを意識した経営

持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値向上のさらなる推進に向けて、マテリアリティ(重要課題)を特定し、サステナビリティ関連方針を策定しました。

蝶理のグローバルネットワーク

第二次世界大戦後、民間貿易が再開された1949年から海外展開を本格的に再スタートさせた蝶理は、世界各国に拠点を有しています。これからも、グローバル化をさらに加速し、顧客ニーズに応えていきます。



国内事業所

東京本社

〒108-6216
東京都港区港南2-15-3
品川インターシティC棟
TEL 03-5781-6200(代表)

大阪本社

〒540-8603
大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13
アーバンネット御堂筋ビル
TEL 06-6228-5000(代表)

北陸支店

〒920-8676
石川県金沢市昭和町16-1
ヴィサージュオフィスゾーン15階
TEL 076-232-3521(代表)

岡山出張所

〒700-0024
岡山県岡山市北区駅元町1-6
岡山フコク生命駅前ビル10階
TEL 086-224-6188

主要海外関連企業

- 青島紅蝶新材料有限公司(中国)
無機化学品の製造販売
- 北京星蝶裝備工程技術有限公司(中国)
化学プラント及びその資材の輸出入
- 蝶理(蘇州)材料科技有限公司(中国)
化学品の分析、研究開発
- MCC Industry COMPANY LIMITED(香港)
繊維製品の販売
- MEGACHEM LIMITED(シンガポール)
化学品専門商社
- PT. MATSUOKA INDUSTRIES INDONESIA
(インドネシア)
繊維製品縫製
- PT. TAKAHA MULTICHEM INDONESIA
(インドネシア)
化粧品企画提案型原料商社

主要国内関連企業

- (株)アサダユウ
内装資材・梱包資材の販売
- 蝶理MODA(株)
ファッションアパレルの企画
- (株)STX
繊維専門商社
- ミヤコ化学(株)
化学品専門商社
- (株)小桜商会
化学品専門商社
- 蝶理GLEX(株)
化学品専門商社
- 蝶理マシナリー(株)
輸送機器の貿易
- (株)ビジネスアンカー
事務受託業

現地法人 ● 蝶理アメリカ(ジャージーシティ)
● 蝶理メキシコ(メキシコシティ)

米国・中米

事務所 サンティアゴ

南米

◇ 現地法人 ● 事務所・支店
● 繊維商材の取扱 ● 化学品商材の取扱
(国内:4拠点 海外:30拠点)

事業紹介

繊維事業

1861年創業以来の蝶理の中核事業

生糸問屋として創業した蝶理にとって、繊維事業は創業以来160年超にわたるビジネスの軸。その専門性の高さと知見の広さで、歴史とともに信頼を築き上げてきました。繊維事業では、原料を扱う「川上」から、テキスタイルや資材を扱う「川中」、アパレル等の最終製品を取り扱う「川下」まで、トータルに事業展開を行っています。



素材事業部 —— 各部の取扱商材・商品の強み

スポーツ衣料やユニフォーム向け等、多様な原料・テキスタイルを展開しています。

● 繊維原料部



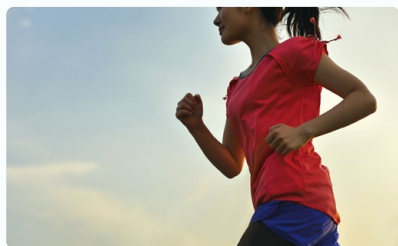
主な取扱商材

- 合繊原料・ポリエステル糸・ナイロン糸

国内トップクラスの原料販売シェア

国内をはじめ、欧州・米国・ASEAN地域を中心とした海外への原料供給やオリジナル糸の開発等を行っています。海外ネットワークを利用したグローバル適地調達や日本の高度な糸加工技術を用いて、付加価値のある高機能素材や環境配慮商材等を衣料用途や資材用途向けに販売し、幅広く事業を展開しています。

● テキスタイル部



主な取扱商材

- カジュアルウェア・スポーツウェア・中東民族衣装・資材用途向け生地

日本の技術+グローバルな生産拠点

日本の高品質・高機能商材に加え、インドネシア・ベトナム・中国等の海外拠点で開発した生地を様々な市場に展開しています。日本国内だけでなく、中国・韓国を中心としたアジア地域、中東地域、欧州・米国に向けてグローバルに生地を供給しています。

📄 ビジネスモデル

長い歴史とともに築き上げた多様な取引先とのグローバルなネットワークを活かして、様々な商材の提案を行っています。原材料調達から、織り・編み・染め・縫製に至る各プロセスで商流のコラボレートを生み出せることが蝶理の繊維事業の強みです。また、取引先とのネットワークをもとに、オリジナル商材の繊維原料開発も手がけています。

CIP2025 繊維事業戦略

「GLOBAL ONE STOP CHORI」の強みをさらに強化し、成長分野での事業拡大を推進

- 独自のビジネスモデルの強化
- 3分野(素材・製品・資材)での安定的な成長
- 成長分野(環境、健康・快適)での事業拡大
- 事業のさらなるグローバル拡大
- 高機能・高専門性の追求と差別化・競争力強化

資材事業部 —— 各部の取扱商材・商品の強み

幅広い用途の資材を展開しています。

● 資材部



主な取扱商材

- 衛材・生活資材・建材

用途・要望に応えた、安心・高機能な不織布・複合シート

乳幼児の肌に触れる柔らかい不織布、多様なデザインで再現性の高い印刷防水フィルム、特殊原綿を活用したかき取り性能の高いワイピングシート等を取り扱っています。また、建材市場で培った知見を活かし、高耐久、透湿防水、遮熱、防カビ、防音・吸音等の複合性能を持った量産高機能シートの開発も行っています。求められる安心基準をアジア各国でも担保し、お客様のグローバルな販売を支援します。

● 車両資材部



主な取扱商材

- 自動車内装材用原料・表皮・自動車繊維部材

大手自動車メーカーの部材に採用

カーシートをはじめとする資材用途を中心としたポリエステル糸の販売と、カーシートを中心としたファブリックを取り扱っています。国内シェアは原料で40%以上、ファブリックでは30%以上を誇り、この強みを活かして海外にも積極的に事業を拡大しています。今後も、世界の主力プレイヤーと堅固なネットワークを構築し、差別化された原料・ファブリックを供給していきます。

事業紹介

製品事業部 ——— 各部の取扱商材・商品の強み

ワーキングウェアや紳士用スーツ、メンズ・レディスウェア、スポーツウェア等を取り扱っています。



ワークスタイル部



主な取扱商材

- メディカルウェア・ユニフォーム・スーツ・衣料資材

医療や介護、建築現場等、様々な分野のユニフォームを販売

あらゆるワーキングシーンにおいて、高い機能性が求められるユニフォームの企画・製造事業をグローバルに展開しています。また、環境配慮型素材や機能素材を用いた高付加価値商品について、国内及び中国・ASEAN地域に生産ラインを構築しています。紳士用スーツと衣料資材は日本、中国、カンボジアを拠点として適地調達、適地販売を展開しています。

アパレル部



主な取扱商材

- レディスファッション・メンズファッション・ユニセックスファッション

大手アパレルメーカーの有力ブランドを国内外で生産、供給

大手SPA※1や、アパレル有力ブランドのOEM※2事業を展開。ファッション衣料全般を取り扱い、グローバルSCMを背景に、企画・提案から縫製、物流まで一貫した事業を展開しています。EC及びリアル店舗市場を毎月分析し、高品質な商品提供を実現しています。また、素材事業部と連携し、SDGs商材の製品化スキームに注力しています。

※1 Speciality store retailer of Private label Apparel (製造小売業)

※2 Original Equipment Manufacturer

パフォーマンスウェア部



主な取扱商材

- スポーツウェア・フィットネスウェア・ゴルフウェア・インナーウェア

大手メーカーの有力ブランドを国内外で生産、供給

ゴルフ用、アスレチック用を中心としたファッション性、機能性の高いスポーツウェア、カジュアルウェアを取り扱っています。グローバルなサプライチェーンを駆使し、顧客と強固な協業体制を構築しています。また、インナーアパレルメーカーへ素材・製品を販売し、ヨガウェアやルームウェア等も取り扱っています。

サプライチェーン全体のサステナブル化を実現



BLUE CHAIN®(ブルーチェーン)とは、温室効果ガス排出量や水消費量等繊維産業が抱える問題を解決するため、糸・生地・製品という繊維産業の川上から川下に至る各段階においてサステナビリティに対応した取組を行い、それらを柔軟に掛け合わせることでサプライチェーンにおけるサステナビリティの全体最適化の実現を目指す、蝶理独自のコンセプトです。

BLUE CHAIN®の取扱商材／取組



ECO BLUE®

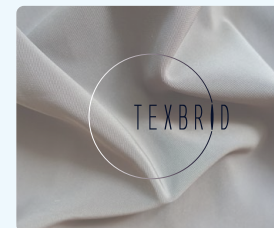
回収されたペットボトルを使用したりリサイクル糸です。原料ペレットから取り扱っており、長繊維から短繊維まで200種類以上の品種を展開しています。



WS™

小松マテレー(株)の「WS™」は、低温で速く染まる特徴を持つ素材です。染色加工におけるCO₂排出量を従来比31.7%※削減することができます。

※ WS™の代表的な素材で測定した数値です。



TEXBRID®

パネ状の分子構造で優れたストレッチ性と伸長回復性を有し、快適な着心地を実現。シワになりにくく、スポーツからビジネスまで日常使いで活躍します。



SPX®

北陸産地で50年以上続く日本独自の糸加工技術「PIN仮撚」によって作られるストレッチ糸。特有のふくらみと軽さにより、柔らかな肌触りと快適な着心地を実現します。



BLUENY®

繊維くずを再資源化したリサイクルナイロン「LOOP」、回収漁網由来のポスト・コンシューマーナイロン「OCEAN」、植物由来のバイオナイロン「SAVE」の3種を展開しています。



B-LOOP®

繊維製品の循環型スキームの総称です。ポリエステルをはじめとした素材を綿や糸に戻すことで衣服・資材等への循環や、自動車の吸音材・水害防止用の河川敷マット等への再利用を行います。



ECOSOL®

紡糸段階で顔料を練り込み着色した原糸ポリエステル糸です。糸を作る段階で色をつけるため、生地で染色する場合と比較し、水使用量やCO₂排出量を削減することができます。



NEXUEDE®

人工皮革の代替ともなる、マイクロファイバーの高品質繊維物生地。スウェード調の肌触りで、カーシート等で採用されています。

事業紹介

化学品事業

ニッチな原料・分野・市場で独自のビジネスモデルを創出

1956年、蝶理は石油化学の将来性に着目し、化学品の取扱を開始しました。以来、化学品事業は約70年の実績を積み重ねてきました。中国国内での調達・販売だけでなく、中東等への輸出・仲介取引を行う等、グローバルネットワークを活かしながら多様なニーズに応えることで他社との差別化を進め、市場での存在感を高めています。



ビジネスモデル

高い専門知識を持つ人材を強みとし、マーケットインによる商品開発・商品供給を行っています。高機能商材の幅広いラインナップにより、顧客ニーズに対応しています。デジタル融合を図りながら、各重要分野においてマーケットインの思考のもと、あらゆるスピードを重視し、常に挑戦し成長していきます。

CIP2025 化学品事業戦略

継続したイノベーションにより、新たなビジネスの構築を目指す

- 連結グローバル事業軸運営の推進
- 高機能・高収益・環境配慮型ビジネスへの入替
- 相場や景気に左右されにくい仕組みづくり、商材領域の開発
- 中国・インド・東南アジア・韓国・南米との取組強化

重要分野

グリーンビジネス



電子・半導体材料



電池材料・非鉄金属



フードマテリアル



ヘルスケア

農業・飼料・肥料



香粧品

化学品第一事業部 ——— 各部の取扱商材・商品の強み

● パフォーマンスケミカル部



主な取扱商材

- ウレタン原料
- 塗料・インク・接着剤
- 樹脂・コンパウンド
- 化粧品・パーソナルケア
- 環境商材
- 熱交換器用アルミ材料

機能性化学品から環境商材まで、市場のニーズに即応した事業を展開

主に樹脂原料、化粧品原料や塗料原料の輸出入販売を行っています。世界的な環境への意識の高まりを受け、「カーボンニュートラル」の実現に向けてリサイクル商材やバイオ原料等各種環境商材の取扱に注力する等、成長市場への対応も強化しています。

● 無機ファイン部



主な取扱商材

- リチウムイオン電池関連材料・電池原材料
- ガラス・セラミックス原材料
- 農業関連材料・肥料関連原料
- 高機能無機薬品材料
- 高機能金属材料

グローバルな視点で無機材料市場をリードする

鉱物やメタルから最先端材料まで幅広い商品群を取り扱い、トレードと事業投資を通じてバランスの取れたポートフォリオを構築し、様々な産業に革新的なソリューションを提供しています。

● 化工原料部



主な取扱商材

- アルミ電解コンデンサ用原材料
- セラミックコンデンサ用原材料
- 黄燐・精製リン酸・リン酸塩
- 樹脂原料・樹脂添加物（タルク、ガラス繊維）

リン酸塩は金属表面処理剤のほか、食品添加物等幅広い分野で使用

中国大手メーカーの代理店として、精製リン酸の原料の安定的な輸入・販売を行っています。リン酸二次塩の原料として使われており、日本国内に精製リン酸食品グレードの専用保管タンクを所有しています。車の塗装下地剤として使われる表面処理剤の原料、食品の保存料、食用油の精製等、幅広い分野で使われています。

事業紹介

化学品第二事業部 ——— 各部の取扱商材・商品の強み

● ファインケミカル部



主な取扱商材

- 医薬原薬・中間体
- 機能性中間体(半導体・電材関連)
- 農業原体・中間体
- バイオ関連商材

少量・多品種 研究開発から商業生産までトータルサポート

世界5極(インド、中国、東欧、北米、アジア)の受委託先・仕入先とグローバルパートナーシップを構築しています。マーケットイン型のビジネスモデルを推進し、顧客の要望に基づくカスタマイズ原料を受委託という形で実現しています。インド亜大陸での新規商材・新規取引先の開拓や、バイオ領域の取扱品目拡大に注力しています。

● ライフサイエンス部



主な取扱商材

- フードケミカル
- 医薬品原料
- 飼料原料・添加物
- 医療用具
- ヘルスケア・サプリメント原料・健康食品素材

食品・飼料・医薬品・肥料向け原料を北米、欧州、中国、アジアの4極体制で調達

食の原点である飼料、肥料から加工食品向け食品原料、さらに医薬品原薬を幅広く取り扱い、人々の豊かな生活と健康を支える事業を展開しています。また、次世代を見据えた未来志向のビジネスとして、食品、飼料領域で様々な代替タンパク新規事業を世界のパートナーとともに展開・推進しています。

SDGs商材

チリ・リチウム化合物製造プロジェクト

かん水から抽出することで、塩湖の水量を減少させずにリチウム化合物を生産するプロジェクトに参画しています。



持続可能なタンパク質

最新のバイオ技術を用いて新規タンパク質を生産することで、持続可能な水産飼料を開発しています。



生分解性樹脂

微生物によって最終的に水とCO₂に分解される育苗シートを取り扱うほか、ごみ袋等への採用も提案しています。



事業紹介

機械事業

長年培ってきた貿易ノウハウ、
独自取引ルートを活かして、事業を推進

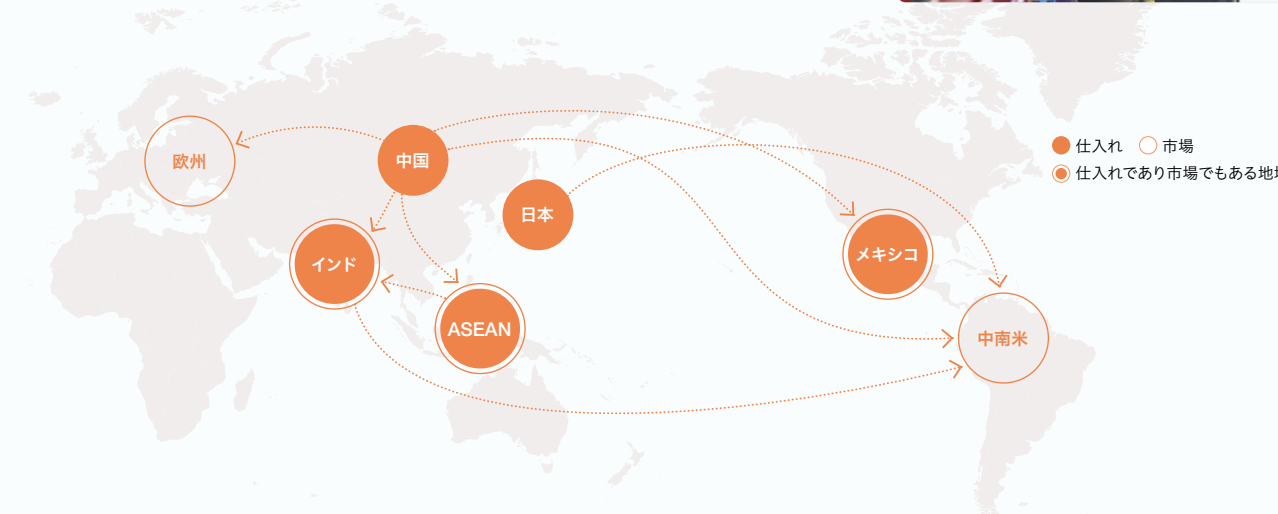
2017年4月に分社化した蝶理マシナリー(株)で、事業を推進しています。

● 輸送機器

四輪車・二輪車・トラック、農業用機械、建設機械、船舶用機器

四輪車・二輪車・トラック等の輸送機器のほか、農業用機械、建設機械等の中南米、欧州向け取引を行っています。

2017年2月より、メキシコの自動車組立製造メーカーへの投資を通じて、中国の自動車メーカーの乗用車をメキシコでセミ・ノックダウン生産し、現地で販売するプロジェクトに参画しています。近年は新興国市場の取扱が拡大しており、これからも、長年培ってきた貿易ノウハウ、独自取引ルート等を活かして、事業を展開していきます。



注カプロジェクト

イタリア発の欧州戦略車

蝶理マシナリー(株)は、イタリアのパートナー企業と協働し、イタリア(160万台市場)でプレゼンスを確立し、スペイン、ドイツ、東欧等の欧州各地向けビジネスを展開しています。パートナーの開発するスタイリッシュな自動車が、現地の若者に支持され、市場で受け入れられたことで、好調に拡販が進んでおり、現在はSDGsに貢献する電気自動車の展開も積極的に進めています。



会社情報

会社概要（2025年3月31日現在）

商号	蝶理株式会社 CHORI CO., LTD.
所在地	東京本社 〒108-6216 東京都港区港南2-15-3 TEL 03-5781-6200(代表) 大阪本社(本店) 〒540-8603 大阪府大阪市中央区淡路町4-2-13 TEL 06-6228-5000(代表)
資本金	68億円
設立	1948年9月2日〔創業1861年〕
決算日	3月31日
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場
主要株主	東レ株式会社
従業員数	連結1,354名 単体445名(他社への出向者74名を含む)
ホームページ	https://www.chori.co.jp/

役員（2025年6月20日現在）

代表取締役社長 社長執行役員	迫田 竜之	常務執行役員	寺谷 義宏
取締役 常務執行役員	吉田 裕志	常務執行役員	芦田 尚彦
取締役 執行役員	吉田 裕志	上席執行役員	中山 佐登子
取締役 執行役員	埜 和博	上席執行役員	中村 将雄
取締役	猪原 伸之	執行役員	大岩 泰広
社外取締役	関根 千津	執行役員	高丸 雅弘
取締役 監査等委員	藪 茂正	執行役員	河村 泰孝
社外取締役 監査等委員	澤野 正明	※ 社外取締役 関根 千津、澤野 正明、鈴木 博正、野田 弘子の4氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ています。	
社外取締役 監査等委員	鈴木 博正		
社外取締役 監査等委員	野田 弘子		



Tsumuguレポート

蝶理の経営ビジョンや理念、強み、事業の詳細等は、Tsumuguレポートをご覧ください。

<https://www.chori.co.jp/ir/library/tsumugu/>



組織図（2025年4月1日現在）

